

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

情報の価値を具現化する仕組みを提供する

連結売上高
8,700百万円連結営業利益
300百万円個人投資家顧客基盤
1,000万人金融機関ルート
170社超

② 中長期の経営戦略

1. 選択と集中への方針転換

SaaS系やサブスクリプションサービス系事業と安定収益エンジン化が可能な事業に集中。赤字新規事業から撤退

3. ソリューション事業の成長投資

SaaS型情報ソリューション、Kabutan株探プレミアム等成長事業に年間約3億円の設備投資配分。売上高4,000百万円見通し

2. メディア事業の収益性改善

クリエイターズエコノミー等既存事業の安定化。2026年3月期売上5,000百万円見込み、セグメント利益430百万円

4. 経営管理機能の強化

週次経営会議のPDCAに加えプロジェクト審議会を設置。情報可視化強化でモニタリング機能向上

③ 対処すべき課題

① 安定収益化への回帰

- ・ 事業・資産整理施策の継続的モニタリング実施
- ・ 収支改善を適時的確に把握し必要に応じ機動的対応
- ・ 既存週次経営会議のPDCA強化

② 財務体質の強化

- ・ 継続企業の前提に関する重要な疑義の解消が最優先
- ・ 安定収益体制構築と資金繰り安定化への取り組み
- ・ 自己資本回復に向け資本政策の再構築検討

③ コアアセット競争力の維持向上

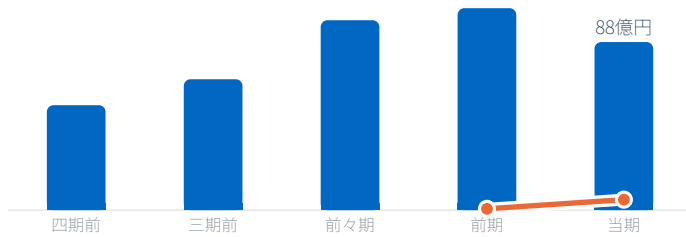
- ・ AI・クラウド・セキュリティ等先端技術への迅速な対応
- ・ 1億人規模のメディアユーザーベース活用したニーズ分析
- ・ 情報管理品質維持向上とUGC・利用者双方の保護

面で使えるポイント

- ・ 3期連続の経常損失から選択と集中へ方針転換し、2026年3月期に営業利益300百万円の黒字化を目指す企業。
- ・ 個人投資家1,000万人、金融機関170社超のコアアセットを活かしSaaS等成長事業に集中投資する戦略。
- ・ 情報インフラ提供企業として、AI・クラウド等先端技術対応と情報管理品質維持でコアアセット競争力を強化。

証券コード 4436

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

「情報の価値を具現化する仕組みを提供する」という企業理念のもと

主力事業・セグメント

- ・メディア 58.2%
- ・ソリューション 41.8%

強み・特徴（公開データから）

- ・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
88億円営業利益率
6.3%財務健康度
1点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 40.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
628万円

情報・通信業内 352位/592社

平均年齢
36.2歳

情報・通信業内 403位/593社

平均勤続
7.3年

情報・通信業内 245位/593社

女性管理職
30.3%

情報・通信業内 49位/373社

男性育休
100.0%

情報・通信業内 77位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)ミンカブ・ジ・インフォノイド【4436】：決算情報

